

# 代表質疑

9月8日の本会議で、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者4人が平成27年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

## 市民の命を守り

### 暮らし優先の施策を



日本共産党 大城 美幸 幹事長

**議員** 平和安全法制成立で国から自治体への協力要請が強化された。調布飛行場の活用が現実のものとなる危険性がある。所見を伺う。  
**市長** 国の安全保障のあり方に関わる事項であり、具体的な答弁は差し控える。

**議員** 消費税増税の影響等から、市民の暮らしを守ることを最優先にした施策について、決算年度における具体的な取り組みを伺う。  
**市長** 生活困窮者自立支援制度に積極的に対応するとともに、国保や介護保険における低所得者の負担軽減の拡充などに取り組んだ。

**議員** 介護保険制度改正で市民負担が増えたが、本当に必要なサービスが十分提供されているのか懸念され



西部地域包括支援センター

る。介護保険サービスは充実したと言えるのか伺う。  
**健康福祉部長** 地域包括ケアシステム構築のため、生活支援コーディネーター配置や地域包括支援センターの機能拡充を進めている。  
**議員** 本市は子どもの医療費助成に伴う国保のペナルティー（国庫負担金の減額）廃止について国に要請してきた。今後の方向性を伺う。  
**市長** 国は「一億総活躍プラン」の若者・子育て世帯への支援の中で、国保の減額調整措置の見直しを含め検討し、年末までに結論を得るの見解を示している。

都有地の活用など新たな協力が不可欠と考えている。  
**議員** 本市はいじめ防止対策推進条例等に基づき、各学校でいじめ問題への対応を進めている。決算年度における取り組みを伺う。  
**教育長** 近年増加傾向にある

## 自主財源の増収に努め

### 健全で安定した市政運営を



自由民主クラブ 土屋 健一 幹事長

**議員** 地方自治法の改正で市町村に基本構想の策定義務はなくなったが、市長は平成27年第4回定例会において基本構想の一部変更に係る議案を提出した。基本構想について議会の議決を経る意義をどう考えるか。  
**市長** 市政の将来ビジョンを示す基本構想を、市民の代表である市議会の審議や議決を経て確定することが、市民と目標を共有することにつながる。と考える。

**議員** 使用料及び手数料の収入未済額のうち、学童保育所使用料が約9千円で約85%を占める。未払い者数が入所待機児童数を上回ることも聞く。収納率向上にどのような取り組みを計画しているか。  
**子ども政策部長** 滞納は翌年度の入所審査時の減点対象にするとともに、文書や電話による催告を継続し、使用料財源の重要性や待機児への理解を求めている。

**議員** 政府の地方創生の更なる推進を目的とした、ふるさと納税制度の拡充について、所見を伺う。  
**市長** 地方税財源の拡充による自治体財政基盤の確立を目指す立場から、一定の

ネットいじめの未然防止の視点を含めて、いじめ対策年間計画に基づく早期発見の取り組みを推進した。  
**その他の質問** 憲法を記念する市民のつどい／横田基地へのオスプレイ配備／基金の取り崩しについてなど

問題がある。と考える。市としては、寄附文化の醸成を図る取り組みを強化する。  
**議員** 保育園の待機児童解消に向けて、定員拡充以外に取り組みを行ったか。  
**市長** 幼稚園の預かり保育の充実を働きかけている。

**議員** 超高齢化社会に対応する医療・介護・福祉の連携の進捗はどうか。  
**健康福祉部調整担当部長** 多職種の連携により、在宅医療・介護連携推進協議会の設立準備を進めてきた。  
**議員** 平成27年度中の都市型産業誘致条例に基づく企業誘致の取り組みを聞く。  
**生活環境部調整担当部長** 新たに条例を適用した企業はなかった。今後、規定等の見直しの検討も進める。

**議員** コミュニティバス三鷹台ルートと西部ルートを統合するメリットと課題について、所見を伺う。  
**市長** バスの本数が増え、複数の路線との重複区間が解消できる。渋滞で遅延が発生しないよう、運行時刻表を検討する必要がある。

**その他の質問** 宅地化と農地の減少／日本無線(株)南側敷地の取得と東西道路の

## 不断の努力で「高環境・高福祉の三鷹」を目指せ

公明党 粕谷 稔 副幹事長



**議員** 三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて市民や関係団体が市、指定管理者と協働し、施設管理事業等を行うことができる仕組みの構築について伺う。  
**市長** 協働型の指定管理者のあり方について新財団発足の方向で検討を進めた。

**議員** 市民協働の更なる推進や市民活動の活性化の観点から、ボランティアポイント制度導入を提案している。検討状況を伺う。  
**都市再生担当部長** 他自治体の事例等を調査し、ポイント付与のメニューや利用方法等の検討に着手した。

**議員** 帰宅困難者への情報提供については、JR三鷹駅とともに検討、改善を行っていること伺う。  
**総務部長** JR三鷹駅に情報提供スポットを開設し、JRが平時から運用しているサインージ（案内板）の活用や、デジタルサイン

を整備／子ども・子育て支援新制度と幼稚園の動向／総務部についてなど

合教育会議／行財政改革についてなど  
**議員** 待機児童解消に向けて、まちづくりと連動し、事業者と連携した保育施設の整備について伺う。  
**市長** 大規模開発に際しては、子育て支援施設など公共的・公益的な施設の整備について、適切に誘導する方針を強めていきたい。

**議員** 介護予防・日常生活支援総合事業開始に当たり、生活支援コーディネーターを2つの地域にモデル配置した。取り組み状況と成果について伺う。  
**健康福祉部長** 地域との関係づくりに努めることも併せて進めている。

**議員** 被爆樹木2世が植樹され、仙川公園は世界的な平和関連資源の整った公園となった。平和を冠した公園名へ改名してはどうか。  
**市長** 開園時に公募で名称を決定した経緯があるが、関係者や市民、議会の声も踏まえ、検討したい。

**議員** 管理不適切な空き家の未然防止の観点から、様々な市民構成による空き家対策協議会(仮称)の設置が必要だ。検討状況を伺う。  
**都市整備部長** プロジェクトチームで特定空き家等を認定する根拠や機関連設などの検討を深めていく。

を決定した経緯があるが、関係者や市民、議会の声も踏まえ、検討したい。  
**議員** 管理不適切な空き家の未然防止の観点から、様々な市民構成による空き家対策協議会(仮称)の設置が必要だ。検討状況を伺う。  
**都市整備部長** プロジェクトチームで特定空き家等を認定する根拠や機関連設などの検討を深めていく。

## 多角的な取り組みで未来志向の市政運営を

民進党 谷口 敏也 幹事長



**議員** 平成27年度末の市債現在高は、前年度と比較して増加しているにも関わらず、一般会計基金の現在高も増えている。市債の発行と基金の積み立てに対する市長の所見を伺う。  
**市長** 市債は、世代間負担の公平化を図る観点から活用し、基金は、税収が減少した際のセーフティネットとして重要である。

**議員** マイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入による市債の発行や基金の運用等への影響を伺う。  
**企画部長** 市債の借入れは適債事業を精査して実施しており、借入額への影響はない。基金の運用についても、もともと低い金利なので影響は低い。

**議員** 災害に対する備えや対処法等をまとめた「東京防災」は、大いに活用すべきだ。この本を活用した防災講座の実施状況を伺う。  
**総務部長** 三鷹消防署が68回、市は防災出前講座として21回開催している。

**議員** 平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行された。これまでの違いを含めた所見を伺う。  
**市長** 認可以外の保育施設の入所調整も市が一括して

行うことになり、選択の幅が広がった。また所得に応じた保育料となり、保護者の負担軽減につながった。  
**議員** 民営保育園の運営把握・支援策について伺う。  
**子ども政策部長** 民営化に当たっては、何よりも保育の質を確保することが大事だ。運営委員会や保育評価などの取り組みを維持し、公私連携を進めたい。

**議員** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正された。この法律改正の意図をどう捉え大綱を策定したのか、所見を伺う。  
**市長** 三鷹市らしいこれまでの取り組みを重視しつつ、子ども本位、市民本位の学校教育と社会教育を含む生涯学習が実現するよう、教育委員会との連携を強め大綱を策定した。

**議員** 同法の改正について教育長の所見を伺う。  
**教育長** 教育行政に果たす役割と責任が明確になり、一層迅速で的確な判断が求められる。市長と緊密な連携を図り、教育行政の一層の充実に取り組みたい。

**その他の質問** 市政運営の考え方と成果／危機管理プロジェクト／情報発信方法及びツールについてなど

三鷹市議会では、インターネットによる本会議の生中継と録画中継の配信を行っています。代表質疑及び一般質問の模様は、市議会ホームページ（1面題字下参照）でご覧いただけます。